

平成26年 網走市議会  
経 済 建 設 委 員 会 会 議 録  
平成26年11月28日（金曜日）

○日時 平成26年11月28日 午前10時48分開会

○場所 委員会室

○議件

1. 議案第3号 網走市破碎・リサイクル施設建設プラント工事請負契約の締結について
2. 議案第4号 一般廃棄物処理施設防災工事請負契約の一部変更について
3. その他

○出席委員（6名）

|         |         |
|---------|---------|
| 委 員 長   | 佐々木 玲 子 |
| 副 委 員 長 | 小 澤 陽 平 |
| 委 員     | 工 藤 英 治 |
|         | 栗 田 政 男 |
|         | 古 都 宣 裕 |
|         | 山 田 庫司郎 |

○欠席委員（0名）

○委員外議員（1名）

|     |         |
|-----|---------|
| 議 長 | 小田部 善 治 |
|-----|---------|

○傍聴議員（6名）

|         |
|---------|
| 飯 田 敏 勝 |
| 金 兵 智 則 |
| 高 橋 政 行 |
| 松 浦 敏 司 |
| 山 田 俊 美 |
| 渡 部 眞 美 |

○説明者

|         |         |
|---------|---------|
| 副 市 長   | 大 澤 慶 逸 |
| 市 民 部 長 | 後 藤 利 博 |
| 建 設 部 長 | 石 川 裕 将 |
| 生活環境課長  | 梅 津 義 則 |
| 建 築 課 長 | 角 田 敏 文 |
| 都市開発課長  | 立 花 学   |

○事務局職員

|         |       |
|---------|-------|
| 事 務 局 長 | 佐 藤 明 |
|---------|-------|

|        |         |
|--------|---------|
| 次 長    | 吉 田 正 史 |
| 総務議事係長 | 岩 尾 弘 敏 |
| 係      | 菊 地 香代子 |
| 係      | 松 山 俊   |

午前10時48分開会

○佐々木玲子委員長 ただいまより、経済建設委員会を開会いたします。

本日の委員会ですが、議案2件について審査をいたします。

まず1件目、議案第3号網走市破碎・リサイクル施設建設プラント工事請負契約の締結についてでございます。

担当課より説明を受けたいと思います。

○角田敏文建築課長 網走市破碎・リサイクル施設建設プラント工事請負契約の締結について、御説明させていただきます。議案資料19ページ、資料3号をごらん願います。

入札執行日は平成26年11月13日に指名競争入札にて実施されました。落札業者のメタウォーター株式会社東北営業部と4億3,416万円にて契約を行おうとするものでございます。

工事完了期日は平成29年3月10日でございます。

工事の概要であります。破碎・リサイクル施設に係る全体設計及びプラント施行であります。

想定延べ面積といたしましては約3,500平方メートル、施設規模といたしましては破碎選別ラインの一般ごみ、粗大ごみ一日の処理能力が15トン、資源化処理ライン1日の処理能力は5.1トンとなっております。

以上でございます。

○佐々木玲子委員長 皆様から質疑ございますか。

○山田庫司郎委員 1点だけ。こういう特殊な工事ですから、指名競争入札ということで契約の方法も書いていますけれども、指名業者は何社でやられたのですか。

○佐藤信之建設部長 今回の破碎・リサイクル施設は、全国で実績等を勘案いたしまして5社を選定して、5社による指名競争入札ということで行っています。

○山田庫司郎委員 わかりました。

○佐々木玲子委員長 そのほかございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

では議案第3号につきましては、全会一致をもって原案可決すべきものと決定いたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

そのように報告させていただきます。

○佐々木玲子委員長 次に、議案第4号一般廃棄物処理施設防災工事請負契約の一部変更について、議案といたします。

まず、説明を受けたいと思います。

○立花学都市開発課長 議案第4号一般廃棄物処理施設防災工事請負契約の一部変更について、御説明いたします。資料第4号、21ページをごらんください。

契約変更の理由であります、平成26年6月19日契約を締結いたしました一般廃棄物処理施設防災工事において、当初盛土材料への流用を見込んでいた掘削土砂の含水比が調査時に比べて高く、土質試験により、不良土判定となったことから土質改良し、盛土施工を行うため設計変更したものであります。

契約変更の内容であります、契約の目的である工事名が一般廃棄物処理施設防災工事、工事施工場所は網走市字明治142-2ほか10筆、変更前契約金額が1億5,930万円、変更後契約金額が1億7,564万400円、増額金額が1,634万400円、契約の相手方は、丸田・土屋特定建設工事共同企業体、完了予定日は平成27年1月31日であります。

以上でございます。

○佐々木玲子委員長 皆様から質疑ございますか。

○古都宣裕委員 この掘削土砂の含水費が調査時と比べて高くということで、調査の最初の仕方はどういった形だったのかというのが、聞きたいのですけれども。

雨の後に測れば含水比は上がるでしょうし、日照の後に測れば減ると思うのですけれども、そういった形の中での、最初の調査の時点でどういった形がなされていたのかということを伺いたいと思います。

○立花学都市開発課長 当初、工事を行う以前に、平成25年におきまして土質調査を行っております。

今回の防災工事のエリアですけれども、約200メートルの延長、それから幅が100メートルの防災工事のエリアの中で7カ所において、地質調査を行っ

ております。その土質の地質調査の結果をもとに設計を行い、施工に現在至っております。

○古都宣裕委員 今の話だと、行いましたという結果であって、例えば気候状況とかによってどういったときに、同じ条件のときに測らないと土質の感覚というのが変わってしまうと思うのですけれども、その中でどういった形で行われたのですかという質問だったのですが、もう一度答弁願います。

○立花学都市開発課長 実際に地質調査を行った時期といたしましては、12月ごろに調査を行っております。

試験の結果については、かなり広大な面積の中で調査を行っているということもありまして、粘性土、砂質土、いろいろな土質がございました。

その中で想定される地下水の中で土質としては、何とか盛土材として使えるという判断のもとで施工としては、当初は土質改良は必要ないという判断のもとで施工を行いました。

しかし、現在掘ったところ想定していた含水比では、土質の状態が健全な盛土としてできないということで、土質改良が必要だという判断に至ったということでございます。

○古都宣裕委員 では、気候の問題ではないということだと思うのですけれども、ただ最初の調査の時点で、基本的には多分1年2年でいきなり土が適さなかったという形に変わるというのはあり得ないと思うので、今後、金額が後で大きく変わるということがないように、調査という部分もしっかり事前に行っていただきたいと思います。

○立花学都市開発課長 今後の工事につきまして、今回、かなり大きなエリアでの工事ということもありまして、今後の工事に生かすためにも、地質調査の本数をふやすとか、対応していきたいというふうに考えています。

○栗田政男委員 古都委員のほうからあった質問も、私もしようとしたところなのですが、最近、大型工事でこういうふうな補正という形で変更されるケースが多々あります。まして、ごみ施設は管理型の部分のところだというふうに捉えていいですか。管理型の埋め立てをする部分の盛土ということではないでしょうか。

○立花学都市開発課長 今回原課で行いました工事につきましては、処理施設をつくるに当たって、海のほうに濁水が発生しないために施行した土木工事の中で、防災工事という位置づけの中で行っており

まして、管理型の埋め立て処分場については、これからの工事という形になります。

○栗田政男委員 理解をいたしました。

いずれにしても調査の段階でしっかりと、もう少し詳細にやるべきではないかというふうに思います。

なぜかといいますと、非常にこういう大きな設備ですし、ましてこういうごみ施設ですから、本当に何かの事故があったときには、大変な問題になる施設であります。

そういう意味からすると、本当にもっと地質に関しても、しっかりとした調査ボーリングも含めて。

サイロのときもそうだったのですが、途中から岩盤が出てきたと。それぐらいは事前にわかるだろうということも含めて。

もう少しこれを専門にする業者もいるわけですから、しっかりとやっていただきたいなということをお願いしたいと思います。

それで所管は生活福祉委員会なので、詳細について我々はあまり詳しくやっていないので、我々の委員会としてはこの予算に対しての審査という形になりますけれども、生活福祉委員会のほうにもこういう大きな変更ですから、しっかりと丁寧な説明をしていただいて、いろいろ議論をしていただきたいなというふうに思います。

これについては、そういうことです。

○佐々木玲子委員長 そのほか。

○山田庫司郎委員 古都委員と栗田委員からありましたが、確かにわからない部分というのが、調査の段階ではあったのだと思います。

ただ十分に調査するという意味で、調査費にお金をかけるという部分も一つあるので、これ非常に難しいところだと思うのです。

調査をびっちりきちんとやった中で、逆に言うとそのほど対応が必要なかったのではということもあり得る場合もあるので、そうしたら調査費が逆に無駄だったという議論も出ないわけではないのですが、両委員からあったようにやっぱりここはいろいろ予測をされるようなことがあれば、やはり調査費にもお金をかけて万全にやるということが一つ大事だと思いますが、私からちょっと1点ですが、工法が変わるわけですから、1月31日の工期が大丈夫なのかと心配があるのですが、この辺は大丈夫ですか。

○立花学都市開発課長 工期につきましては、その土質改良に機械を搬入いたしまして、今回5,000立米の盛土量として今後施行をしていきます。

1日250立米の施工能力がある機械を搬入しておりますので、約20日間で終わるということで、12月いっぱいを目指して今施行を行っているという現状になっております。

○山田庫司郎委員 今、中身をお聞きしましたので、工期の延長は必要ないと。

冬期の工事ですから、雪やいろいろなこと含めるとは思いますけれども、後の工事もいろいろ予定がされていますから、何とか工期の中でやれるということをお聞きしましたので、理解をさせていただきたいと思います。

○佐々木玲子委員長 そのほかございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

では、議案第4号につきましても、全会一致をもって原案可決すべきものと決定いたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

そのように、報告をさせていただきます。

---

○佐々木玲子委員長 理事者側から、そのほか案件はございますか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

委員のほうから、何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

以上で、経済建設委員会を終了いたします。

午前11時00分閉会

---